

## 「私たちが考える、公共施設の将来像」

## をテーマにグループ討論を行いました

1月21日（日）松代支所大会議室で、第4回「松代地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

既存施設の再配置を考えるグループ討論の後、まとめとなる意見発表を行いました。アドバイザー信州大学梅干野先生の総括、住民自治協議会の西村会長のあいさつ、樋口副市長から御礼のあいさつの後、参加者全員で記念撮影を行い、松代のワークショップは幕を閉じました。関係の皆さま、ありがとうございました。



松代中学生のグループも含め、地区の将来像を話し合い、公共施設の再配置案をまとめて発表していただきました。（詳細は次ページをご覧ください）

今後、具体的な再配置及び施設整備に向けた検討につきましては、今回のワークショップでいただいたご意見等を参考に、地域の皆さまや、広く市民の皆さまの意見をお聴きしながら協議を重ねてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

**市民ワークショップや公共施設マネジメントに対するご意見、ご要望などありましたら、遠慮なく下記までお寄せください。**

今回のワークショップは、松代地区住民自治協議会のご協力をいただき、公募及び、地区内の各区からご参加いただいたメンバーで、熱い討論を重ねていただきました。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

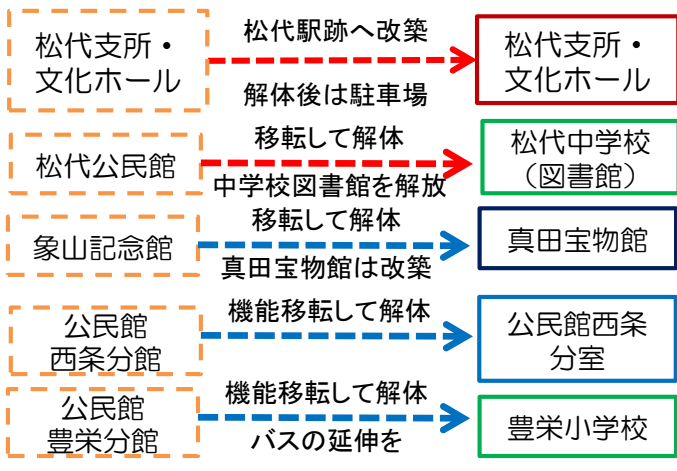
松代支所 電話：278-2280



# 各グループの施設再配置案の概要をご紹介します

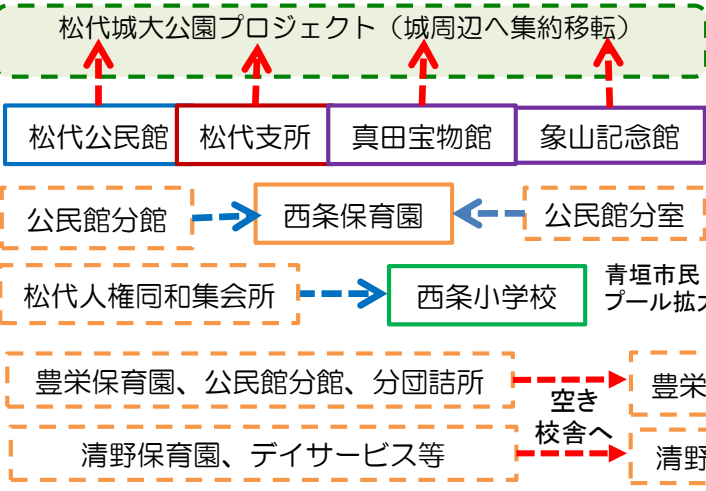
以下に、建物を移す案を で、機能を移す案を で、表しています

## Aグループ コンセプト【長野市で一番人気のある街 松代】



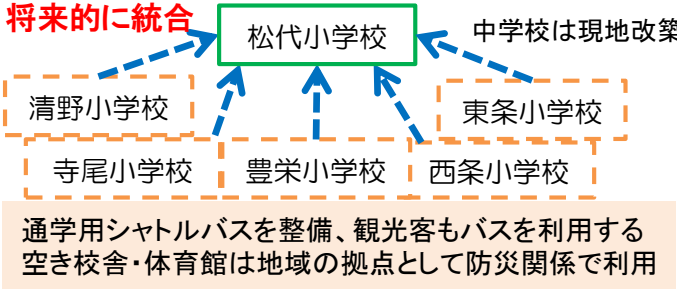
**《効果》**  
 ・中心部に駐車場を確保する  
 ・本が人を集める。学校間交流の推進  
**《課題》**  
 ・空き教室の無い小学校へは、周辺施設の集約化はできない  
 ・学校複合化の場合、セキュリティーの確保  
 ・移動手段（交通）の確保  
**《自分たちにできること》**  
 ・継続的にワークショップを開催して改善を進める  
 ・中学校図書館の警備等を地元で担当する  
 人権同和集会所は集約化、教職員住宅は統廃合を進める  
 小学校の運動会・音楽会は松代全体で開催する

## Bグループ コンセプト【若い人が集まる街に！若い人で創造できる街】

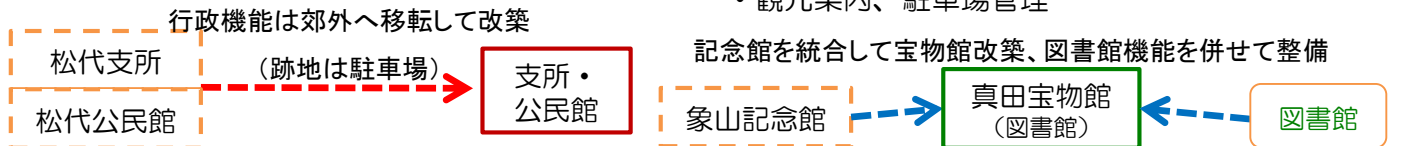


**《効果》**  
 ・集約化でコスト削減  
 ・文化ホール含め、街中の駐車場不足解消  
 ・イベント施設と生活空間の分割を図り、道路混雑の解消ができる  
**《課題》**  
 ・土地の取得費、改築等の工事費  
**《自分たちにできること》**  
 ・行政への協力

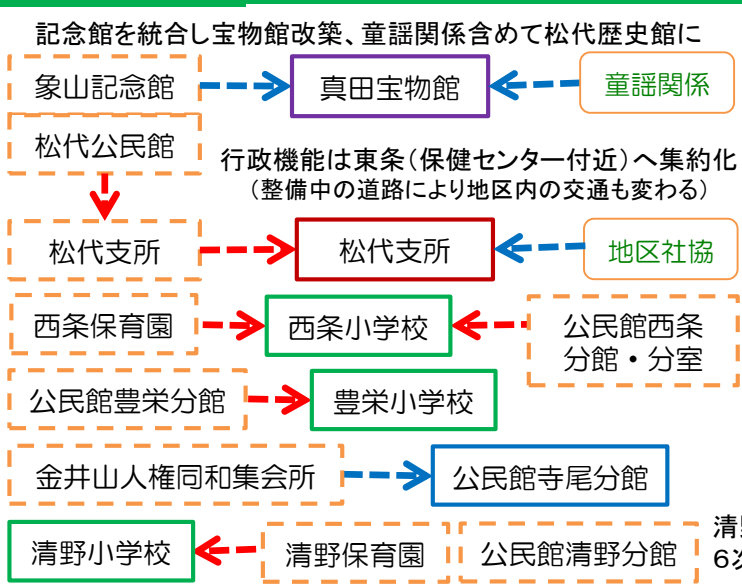
## Cグループ コンセプト【歴史・文化都市で教育を（松代ブランドにしたい）】



**《効果》**  
 ・集約化で経済的、空間的な効率化  
 ・街中の駐車場不足解消  
 ・小学校と文武学校の連携を継続する  
**《課題》**  
 ・シャトルバスの利便性と安全面  
**《自分たちにできること》**  
 ・土産品を作ったり、ボランティア活動  
 ・観光案内、駐車場管理



# Dグループ コンセプト【住民にとって住みやすい街、おもてなしにあふれる街】



記念館を統合し宝物館改築、童謡関係含めて松代歴史館に

行政機能は東条(保健センター付近)へ集約化(整備中の道路により地区内の交通も変わる)

清野分館は地場産品販売センターに転用。農業大学と連携し、6次産業化に向けて清野の施設を活用する

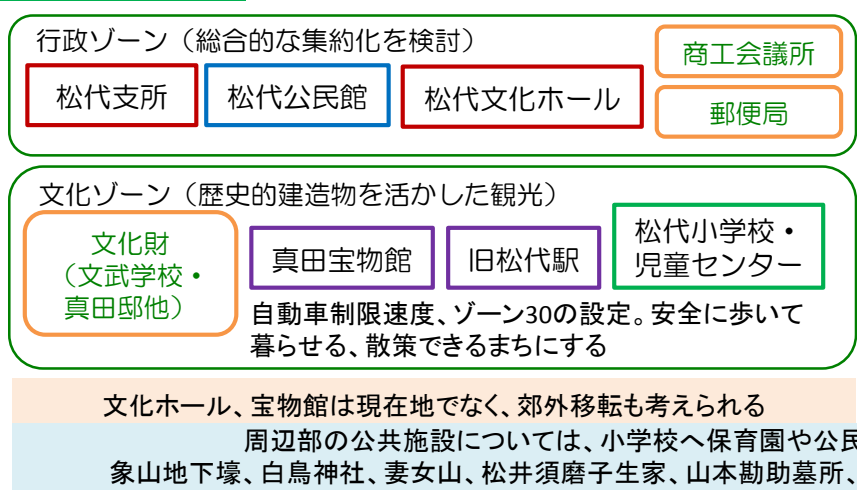
「旧松代駅舎」を観光案内の拠点施設にする  
市営住宅、教員住宅は松代地区全体で集約化を検討

●観光機能を中心部にまとめて賑わいを生む  
●行政機能は東条でワンストップサービスに

●既存施設のバリアフリー化が進んでいない  
●公共交通機関が不足している

●拠点間の移送サービス  
●おもてなし活動をグループで継続する  
●松代に住む人を増やす  
●空き家の利用を促進する

# Eグループ コンセプト【文化施設が残る町】



●集約化によるコスト削減  
●文化財を残し歴史を感じる町に

●人口減少対策(企業誘致等)  
●空き家の活用(武家屋敷等の消滅が懸念される)

●公共施設利用者のコスト負担  
●観光案内、ボランティアガイド  
●レンタサイクル等交通の充実

文化ホール、宝物館は現在地でなく、郊外移転も考えられる  
周辺部の公共施設については、小学校へ保育園や公民館分館等を集約化する  
象山地下壕、白鳥神社、妻女山、松井須磨子生家、山本勘助墓所、大鋒寺などの文化施設を残していく

# Fグループ コンセプト【城と歴史の道と文化財を活用した観光客を呼べる町】



中学生の皆さんのグループです

●若い人が中心になった街づくりの組織をつくる  
●クラウドファンディングや募金で資金集めをする

☆復元した城で松代らしさが生まれ、お金を稼げる。宝物館を新しく改築して、象山記念館の跡は駐車場にする

☆寺尾小学校に隣接する公民館分館に集約できれば便利になり、交流も増える。駐車場が増える

☆駐車場が増え、路上駐車が減る

☆園児と児童の交流が増える。送迎がしやすくなる

屋地・皆神団地等の市営住宅を集約化して跡地を利用

## 参加者アンケートの主な意見をご紹介します

- ◆松代に住みたいと思う人が多くなり、人が増えて欲しい。自分にできることがあれば協力できる自分でありたい
- ◆次の世代の子供たちにとって住みやすい松代であってほしい
- ◆今まであまり考えたことがなく過ごしてきてしまったが、自分の住む町に直接関わる事で、無関心ではいけないと思った
- ◆人口減少に伴い、施設や交通機関など将来を見据えて、これからもワークショップなどの話し合いを続けて行くことが必要だと思う
- ◆次世代の負担を減らすために、思い切った方法で考えなければならないと実感した
- ◆小学校の統合については、経済的な視点だけで考えるべきでない。小さいからムダ→統合という訳にはいかない。まちづくりの視点でも考えて行く。勉強会を作っていくべき
- ◆検討の時間が足りない。参加メンバーの、松代に係る知識の程度が違うので話がかみ合わない部分があった
- ◆今まで当たり前に使っていた公共施設の、今後の在り方について、色々な意見を含めて、考える事ができた
- ◆そもそも集約化、複合化という言葉が知らなかったもので、それらについて話し合うことで、松代に対する関心が高まったと思う
- ◆自分の住んでいる町を知ることができ、大人の人たちと課題、良さ、改善策について話し合うことができてよかった
- ◆とても楽しかったです。ありがとうございました



### 【梅干野先生からのアドバイス】

松代は生きている町、人が町の中で活発に動いている町であると感じた。町は生き物で、文化施設も公共施設も町という生き物の細胞。今、社会的な諸問題があって細胞を新陳代謝しなければならない。生き物としての町を良い方向に導いていくのは、その町に住んでいる皆さんです。自分たちにできることを中心に、活発に、素晴らしい町の未来を描いていただきたい。

### 【住民自治協議会 西村会長のあいさつ】

各グループとも、文化施設と観光について熱心に考え、小学校統廃合についてもわりと客観的に見ておられる。ワークショップで各世代・各地区の皆さんの意見を聞き大変参考になった。地域の活動に若い人が参画していただけるように、住自協としても今後活かしてまいります。

### 【樋口副市長から御礼のあいさつ】

4回にわたるワークショップで、熱心に討議をいただき、関係各位に心より御礼申し上げます。公共施設の適正化は全国的な課題で、今の時代のニーズに合わせて、いかに賢く縮ませるかという考え方。長野市という自治体がある限り、続けて行く作業になるのではないかと。

具体的に、松代が他の地区と違うのは、歴史と文化が非常に豊富であり、多くの観光客等がお越しになる地区である。これは大きな財産であり、皆さまの誇りにしていただきたい。

小学校については、何が子どもたちの教育に必要なかを第一に考えて行くことが大切。今回のワークショップは、今後の個別施設計画策定など、様々なことを含めた検討のスタートに立つためのものであり、引き続き松代地区の皆さまのご協力をお願いする。

松代地区のワークショップ開催に御協力いただいた皆さまに、改めて厚くお礼申し上げます

